

堆肥化サイクル概要

生ゴミ連続受入

苗箱
(水切設備)

素材調整 (裁断、水切り)

堆肥バケツ
(貯留設備)

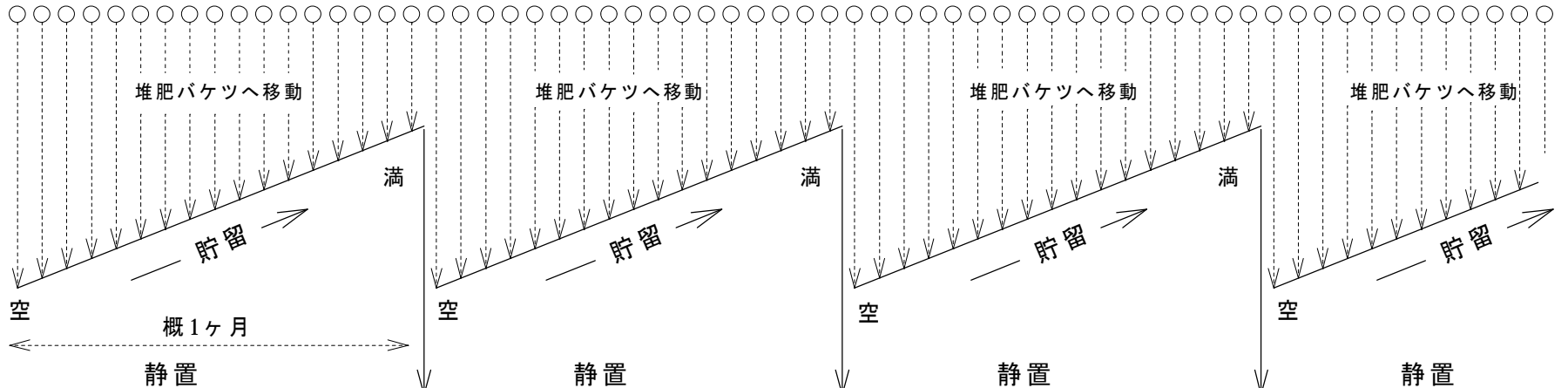
堆肥バケツへ移動

堆肥バケツへ移動

堆肥バケツへ移動

堆肥バケツへ移動

普通バケツ
(一次発酵設備)



プランター
(二次発酵設備)

発熱
(好気性発酵⇒)

発熱
(好気性発酵⇒)

発熱
(好気性発酵⇒)

発熱
(好気性発酵⇒)

ガラ入れ袋
(保存熟成設備)

(熟成)

(熟成)

(熟成)

(熟成)

適宜使用

使用時まで保存

(複数単位で使用時まで保存可能)

ミニプラント堆肥化の特徴

連続して受け入れられる生ゴミ素材は調整され、堆肥バケツで単位量となり、各設備へ移動する。

それぞれの設備は、並行して運用され、特有の堆肥化工程が進行している。→省スペースかつ連続した処理が可能となっている。

工程別に監理を行うことができるため、良好な堆肥化を行うことができる。

保存熟成にはガラ入れ袋を使用するため、使用時期までの長期保管ができる。

<http://homepage2.nifty.com/hanasaka/>
生ゴミ堆肥の花咲おじさん